

2022 年度事業報告書

1. はじめに

世界経済に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染拡大から 3 年以上が経過しました。ようやく様々な規制が緩和され、経済も正常化へ歩み始めていますが、一方で 2022 年 2 月に始まったロシアのウクライナ侵攻終息への道筋は未だ不透明です。このような状況の下、鉄スクラップ業界の先行きも予断を許さない状況が続いています。

2022 年の国内鉄スクラップ価格は年間平均としては史上最も高い価格を記録しました(H2 52,600 円)。こうした高値が今後も続くかどうかを確実に見通すことは出来ませんが、国内外におけるカーボンニュートラルの動き、将来予測される国内高炉メーカーや中国の鉄スクラップ購入増などを考慮すると、現在の状況から著しく大きな変化はないと見る向きもあります。

こうした中、2022 年度の日本鉄リサイクル工業会の活動は、取り組みの方向性として以下の 4 項目を掲げ、積極的な活動を展開し、一定の成果は挙げられたと考えています。

- I. 全国 7 支部 8 委員会を通じて会員企業の現状と抱えている課題の把握
- II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施
- III. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議
- IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

2022 年 6 月には新型コロナウイルス感染症対策を充分講じた上で、青森において 3 年ぶりに全国大会を開催し、各種会議においてもオンラインやハイブリット形式での会議を開催することで、工業会活動の推進を図りました。

当工業会としても脱炭素・カーボンニュートラルへの貢献が大きな課題の一つですが、2022 年度は鉄スクラップの環境価値を定量的に評価し、鉄スクラップを 1 トン再利用することによる二酸化炭素削減効果である「CO2 マイナス 1.39t」を内外に向けて強力に発信しました。

また、違法ヤード事業者に関しましては、取り締まりの所管が自治体・警察・消防等の多岐にわたりますが、適正な事業活動の推進が図られるよう工業会を管掌する経済産業省金属課に対し、法令遵守の徹底を指導いただくよう支援を要請しました。

2022 年度の具体的な事業活動につきましては以下をご参照頂きますが、会員各位の日頃の工業会活動に対するご支援、ご協力に関し、此処に改めて御礼を申し上げます。

2. 事業概要

<主要取り組み事業>

I. 会員企業の現状と抱えている課題の把握

(1)「委員会、支部、部会の各種活動の活性化と連携強化」

当工業会が直面する諸課題についてタイムリーに把握・集約し、会員の意見等を十分に踏まえた的確な対応を図るために、運営委員会の開催時に各支部長ならびに委員会委員長から会員各社の現状や抱えている課題の把握に努め、課題解決に向けた対応が図られるよう検討を行っております。

加えて、支部・部会においても、独自の講演会・勉強会・研修会の開催や、個別ニーズに応じた独自組織の運営等を行った他、本部・関係委員会との連携強化を図っております。

II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施

2022年度の各委員会活動の主な概要は、以下の通りです。

<総会、理事会及び委員会活動>

(1)第 47 回通常総会(2022 年 6 月 18 日(土) 於:ホテル青森)

- 第 1 号議案 議事録署名人選任の件
- 第 2 号議案 2021 年度事業報告書(案)承認の件
- 第 3 号議案 2021 年度決算報告書(案)承認の件
- 第 4 号議案 2022 年度事業計画書報告の件
- 第 5 号議案 2022 年度予算書報告の件
- 第 6 号議案 役員選任の件
- 第 7 号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を会長に委任の件

(2)理事会(4 回)

◆第 168 回理事会(2022 年 5 月 19 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- (2) 第 32 回全国大会(東北支部主管)開催準備状況
- (3) 感謝状、表彰状贈呈候補者

[審議事項]

- (1) 2021 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)
- (2) 2022 年度予算書の修正(案)
- (3) 役員交代(案)
- (4) 理事・監事の推薦候補者(案)
- (5) 委員交代(案)
- (6) 第 169 回理事会(6 月 18 日開催)審議事項(案)
- (7) 会費検討特別委員会の廃止について(案)

◆第 169 回理事会(2022 年 6 月 18 日)

- (1) 会長、副会長、専務理事の選定の件
- (2) 顧問候補者の推薦の件
- (3) 委員長候補者の同意の件
- (4) 委員会委員の承認の件

◆第 170 回理事会(2022 年 11 月 29 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1) 代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2) 委員会の主な活動状況の報告
 - ① 広報委員会、環境委員会 合同にて進捗中の鉄スクラップの環境価値の対外 PR 対応状況について(進捗報告)
 - ② 自動車リサイクル法委員会・資源回収インセンティブ制度について
- (3) 経済産業省松野金属課長との意見交換会(8/31)ならびに普通鋼電炉工業会との懇談会(10/5)の報告
- (4) 第 33 回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況について
- (5) 消費税のインボイス制度(2023 年度 10 月導入開始)について
- (6) 「鉄リサイクル業高齢者雇用推進委員会」関連報告
- (7) 原子力発電所等金属廃棄物利用技術開発検討委員会について

[審議事項]

- (1) 2022 年度中間決算(案) について
- (2) 委員交代について
- (3) 第 47 回通常総会、第 32 回全国大会の費用精算について
- (4) 外国系業者の入会希望等への対応について
- (5) 2023 年新年賀詞交歓会の開催について
- (6) 監査法人夏目事務所の監査に準じた会計全般の助言指導について
- (7) その他

[書面審議事項]

- (1)2021 年度決算報告書の一部修正の件
- (2)違法ヤード事業者の入会希望に関する対応策の件

◆第 171 回理事会(2023 年 3 月 28 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- (2)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①「違法ヤード業者の現状等に関する意見交換」に関する金属課からの要請について
 - ②第 33 回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況
 - ③2023 年度各支部通常大会の開催日時
- (3)メーカーの賛助会員化
- (4)2024 年新年賀詞交歓会の開催等について
- (5)その他

[審議事項]

- (1)2023 年度事業計画(案)及び 2023 年度収支予算(案)
- (2)委員交代
- (3)その他

(3)運営委員会

<委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1)工業会の事業計画、事業報告及び予決算に係る事項の検討
- (2)工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3)各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4)関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

<委員会開催>(4回)

◆2022 年度第 1 回運営委員会(2022 年 5 月 9 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各委員会及び各支部の活動報告
- (2)第 32 回全国大会(東北支部主管)開催準備状況
(イベント保険への加入について)

[審議事項]

- (1)2021 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)
- (2)2022 年度予算書の修正(案)

- (3) 役員交代(案)
- (4) 理事・監事の推薦候補者(案)
- (5) 委員交代(案)
- (6) 感謝状、表彰状贈呈候補者(案)
- (7) 第 169 回理事会(6 月 18 日開催)審議事項(案)
- (8) 会費検討特別委員会の廃止について(案)
- (9) その他

◆2022 年度第 2 回運営委員会(2022 年 11 月 15 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1) 各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ① 広報委員会、環境委員会 合同にて進捗中の鉄スクラップの環境価値の対外 PR 対応状況について(進捗報告)
 - ② 自動車リサイクル法委員会・資源回収インセンティブ制度について
- (2) 経済産業省松野金属課長との意見交換会(8/31)ならびに普通鋼電炉工業会との懇談会(10/5)の報告
- (3) 第 33 回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況について
- (4) 消費税のインボイス制度(2023 年度 10 月導入開始)について
- (5) 「鉄リサイクル業高齢者雇用推進委員会」関連報告
- (6) 原子力発電所等金属廃棄物利用技術開発検討委員会について

[審議事項]

- (1) 2022 年度中間決算(案)について
- (2) 委員交代について
- (3) 第 47 回通常総会、第 32 回全国大会の費用精算について
- (4) 外資系業者の入会希望等への対応について
- (5) 2023 年新年賀詞交歓会の開催について
- (6) 監査法人夏目事務所の監査に準じた会計全般の助言指導について
- (7) その他

◆2022 年度臨時運営委員会(2022 年 11 月 25 日)【Web 開催】

[審議事項]

新規入会希望等への対応について

◆2022 年度第 3 回運営委員会(2023 年 1 月 17 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1) 各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ① 広報委員会、環境委員会 合同にて進捗中の鉄スクラップの環境価値の対外 PR について(進捗報告)
 - ② 経済産業省・金属課 松野課長への新年ご挨拶と意見交換
- (2) 「鉄リサイクル業高齢者雇用推進委員会」関連報告

(3)その他

◆2022年度第4回運営委員会(2023年3月15日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

(1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告

①「違法ヤード業者の現状等に関する意見交換」に関する金属課からの要請について

②第33回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況

③2023年度各支部通常大会の開催日時

(2)メーカーの賛助会員化

(3)2024年新年賀詞交歓会の開催等について

(4)その他

[審議事項]

(1)2023年度事業計画(案)及び2023年度収支予算(案)

(2)委員交代

(3)その他

(4)財務委員会

<委員会活動・事業>

(1)支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。

(2)一般社団法人としての会計基準に基づく適正な予決算の実施。

<委員会開催>(3回)

◆2022年度第1回財務委員会(2022年4月28日)【Web開催】

(1)2021年度決算(案)について

(2)2022年度予算(案)予算の修正について

(3)その他

◆2022年度第2回財務委員会(2022年11月9日)【Web開催】

(1)2022年度中間決算(案)について

(2)その他 インボイス制度について

◆2022年度第3回財務委員会(2023年3月10日)【Web開催】

(1)2023年度財務委員会の事業計画・予算(案)について

(2)2023年度予算(案)について

(3)その他 インボイス制度について、工業会活動について

(5)商社流通委員会

<委員会活動・事業>

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することによる工業会

活動支援。鉄スクラップ流通に係る諸問題(カーボンニュートラル、品質向上等)に関し協議し、会員へ発信することによる工業会活動支援。

<委員会開催>(1回)

◆2022年度第1回商社流通委員会(2023年2月22日)

(港湾委員会と合同開催)

(1)本部報告

- 2023年6月以降の活動
- 鉄スクラップの環境価値、PR

(2)2022年の国交省との輸出向け港湾整備に関する打ち合わせ

- 石狩湾新港視察報告

(3)今後の船積みに向けた課題

- 第二の港湾整備対象港の可能性含めて

(4)世界のグリーン製鉄・グリーン調達動向(商社流通委員長発表)

(6)業務対策委員会

<委員会活動・事業>

(1)労働安全衛生講習の動画配信

講師:産業振興(株)武藤・安全環境防災部長

講習テーマ:①墜落・転落災害防止②車両交通事故防止③熱中症予防対策と救急処置

新型コロナ感染症の現状等を考慮し、2021年度以降、労働安全衛生講習会を会員HPにて動画配信による講習会に切り替えることとした。

(2)会員への労働安全衛生活動支援

①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

②危険体験学習会を開催(2022年10月25日(火)参加者20名)

於:コベルコビジネスパートナーズ(株)技術研修センター

③労働安全ポスターを作成・配布。標語として「危ないよ声を掛け合い安全確認 つなぐ言葉でつながる明日」を選定。(2022年12月)

④過積載防止ポスターの作成、配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施。(2022年12月)

⑤2022年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」を実施、29応募作品の中から1位から3位までを表彰。

(3)業界独自の労働災害・事件事例の収集調査を実施(2022年10月)

(4)東京海上日動火災保険(株)主催「今企業が取り組むべきSDGsとは」に関するWebセミナー開催(2023年1月)

(5)災害団体保険の更新内容の検討、加入者募集(2022年3月)

(6)適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応

金属リサイクル伝票の実態把握及び発行・運用管理

<委員会開催> (3回)

◆2022年度第1回業務対策委員会(2022年8月3日)【ハイブリット開催】

(1)2022年度事業計画への具体的取組みについて

- ①労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)
- ②危険体験学習会の開催について
- ③労働災害・事件事例調査の実施について
- ④安全ポスター及び過積載防止ポスターの作成について
 - ・2022年版「過積載ポスター」の塗り絵コンテストの実施について
- ⑤「鉄リサイクル事業のマニュアルブック」改訂(2023年版)内容の検討について
- ⑥「労働安全衛生関連資料の改訂」に関する検討について
- ⑦その他

(2)情報交換

◆2022年度第2回業務対策委員会(2022年10月27日)【ハイブリット開催】

(1)2022年度事業計画への具体的取組みについて

- ①労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)
- ②安全ポスター及び過積載防止ポスターの作成について
 - ・2022年版「過積載ポスター」の塗り絵コンテストの実施について
- ③「鉄リサイクル事業のマニュアルブック」改訂(2023年版)内容の検討について
- ④「労働安全衛生関連資料の改訂」に関する検討について
- ⑤危険体験学習会の開催について
- ⑥労働災害・事件事例調査の実施について
- ⑦東京海上日動火災主催、WEB 無料講習会「企業が取り組むべきSDGsとは」の開催について
- ⑧その他

(2)情報交換

◆2022年度第3回業務対策委員会(2023年1月26日)【ハイブリット開催】

(1)2022年度事業計画への具体的取組みについて

- ①団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- ②ハラスメント防止セミナー関連について
- ③2023年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ④「鉄リサイクル事業のマニュアルブック」改訂(2023年版)内容の検討について
- ⑤「労働安全衛生関連資料の改訂」(2023年版)内容の検討について
- ⑥2021年度労働災害・事件事例調査の結果について(報告案件)

⑦2022 年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」の選考について

⑧労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向け HP 掲載)(報告案件)

⑨その他

(2)情報交換

(7)環境委員会

<委員会活動・事業>

(1)2021 年度実施の調査事業「鉄リサイクルの CO2 削減効果調査」により算出した、「鉄スクラップ 1 トン再利用により CO2 マイナス 1.39 トンに貢献」をキーコンテンツとした鉄スクラップ環境価値 PR 事業を広報委員会とともに展開した。動画、ピンズ、ポスター等の各種 PR ツールを制作した。

(2)工業会会員への CO2 削減施策の提案に向けて、環境委員会より委員企業 3 社を選出し、一般財団法人省エネルギーセンターによる「省エネ最適化診断」を受診。受診結果をもとに、業界に共通する省エネルギー課題や対策等について検証を行った。

(3)環境委員長、広報委員長による業界紙記者への記者レクを実施。業界紙を通じて鉄スクラップの環境価値を PR した。(2023 年 1 月 11 日)

(4)令和 4 年度環境委員会主催「定例講演会」(ウェビナー)を下記プログラムにて開催、会員等約 170 名が参加。(2023 年 3 月 3 日)

【基調講演】

「鉄鋼業のカーボンニュートラルに向けた国内外の動向等について」

経済産業省製造産業局金属課 金属技術室課長補佐(環境・原料担当)後藤王喜様

【講演 1】

「金属(鉄/非鉄)スクラップリサイクルに関する昨今の技術動向」

デロイトトーマツコンサルティング合同会社 マネージャー 永長正丈様

【講演 2】

「鉄リサイクル業の脱炭素に向けた省エネのススメ」

講師:一般財団法人省エネルギーセンター省エネ技術センター長 藤林晃夫様

【講演 3】

「循環経済(サーキュラーエコノミー)に関する環境省の最新取り組み状況」

講師:環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐 福井陽一様

<委員会開催>(4 回)

◆2022 年度第 1 回環境委員会(2022 年 5 月 17 日)【ハイブリッド形式】

(1)本年度事業計画について(進捗状況等)

(2)鉄リサイクルの CO2 削減効果の対外発信について

(3)事務局からの連絡事項、情報交換

◆2022 年度第 2 回環境委員会(2022 年 8 月 22 日)【ハイブリッド形式】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 鉄リサイクルの CO2 削減効果の対外発信について
- (3) 会員各社への CO2 削減施策の事前調査について
- (4) 事務局からの連絡事項、情報交換

◆2022 年度第 3 回環境委員会(2022 年 12 月 6 日)【ハイブリッド形式】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 会員各社への CO2 削減施策の事前調査について
- (3) 次年度事業計画についての意見交換
- (4) 事務局からの連絡事項、情報交換

◆2022 年度第 4 回環境委員会(2023 年 2 月 20 日)【ハイブリッド形式】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 鉄リサイクル工業会の環境 PR の展開について
- (3) 会員各社への CO2 削減施策の事前調査について
- (4) 次年度事業計画及び予算案
- (5) 事務局からの連絡事項、情報交換

(8) 広報委員会

<委員会活動・事業>

- (1) 環境委員会が 2021 年度に実施した調査事業「鉄リサイクルの CO2 削減効果調査」において導き出した“鉄スクラップ 1 トン再利用により CO2 マイナス 1.39t に貢献”をキーコンテンツとして各種PR事業を実施。PRツールとして動画、ピンズ、ポスター等を制作。杉浦広報委員長が各支部 2023 年新年賀詞交歓会(北海道支部、東北支部、中四国支部、九州支部)に出席し、概要説明、動画上映、ピンズ配布など大規模なPR活動を展開した。ピンズについては 2023 年 1 月に全会員宛て 1 個発送し、同時に追加購入を募集した。
- (2) 第 18 回新発見セミナー21(ウェビナー)開催(2022 年 11 月 24 日)
東京製鐵株式会社 総務部総務部長代理(購買/広報管掌)津田聰一朗様を講師に招き、講演「変わる。変わろう！～スクラップも、業界も、東鉄も。～」を都内のスタジオより Live 配信した。参加者約 270 名。
- (3) 業界紙記者による市況解説動画を製作、HP掲載(2022 年 5 月、6 月、9 月、10 月、11 月、12 月、2023 年 1 月、2 月、3 月/計 9 回実施)
- (4) 鉄リサイクルニュース発行・配布(193 号/第 47 回通常総会・第 32 回全国大会(東北支部主管)特集:2022 年 8 月発行)
- (5) 会長と業界紙各社との 2023 年新春インタビュー実施(2022 年 12 月 13 日)
- (6) 環境委員長、広報委員長による業界紙記者への記者レクを実施、鉄スクラップの環境価値をPRした。(2023 年 1 月 11 日)

- (7) 工業会パンフレット作成(データ更新)
- (8) 当工業会、官公庁からの周知依頼事項等各種情報を発信、HP掲載
- (9) 2023 年工業会カレンダーの作成・配布

<委員会開催> (2回)

◆2022 年度第 1 回広報委員会(2022 年 7 月 28 日)【ハイブリッド形式】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 今年度の委員会事業について
- (3) 鉄リサイクルニュース 193 号掲載記事について
- (4) 情報交換

◆2022 年度第 2 回広報委員会(2023 年 2 月 17 日)【Web 開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 2023 年度事業計画・予算案について
- (3) 情報交換

(9) 国際ネットワーク委員会

<委員会活動・事業>

- (1)2022 年の「国際鉄リサイクルフォーラム」はウェビナー形式で東京のスタジオから配信した。中国廃鋼鉄応用協会 CAMU、韓国鉄鋼協会 KOSA、Mr. Sean Davidson、林誠一氏に加え、日本製鉄も参加し、世界各地の業界動向、カーボンニュートラルの状況等を会員と共有できた。
- (2)2022 年度の海外関係機関主催の国際会議は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止もしくはオンライン形式での開催となり、可能な会議には参加した。2022 年 7 月開催の CAMU 主催「中国国際メタルリサイクル会議」はビデオ参加を実現した。

<委員会開催> (4 回)

◆2022 年度第 1 回国際ネットワーク委員会 (2022 年 6 月 3 日)

- (1)7 月 27 日開催予定「第 10 回国際鉄リサイクルフォーラム」準備の進捗状況
- (2)開催前情報の整理: 開催場所、講演依頼内容、パネルディスカッション内容等

◆2022 年度第 2 回国際ネットワーク委員会 (2022 年 9 月 5 日)

- (1)第 10 回国際鉄リサイクルフォーラムの振り返り
各委員による評価、アンケート結果共有、予算消化状況等
- (2)次回国際鉄リサイクルフォーラムについて
 - 開催の時期、方法
 - プログラム、テーマ、ゲストの検討

◆2022 年度第 3 回国際ネットワーク委員会 (2022 年 12 月 19 日)

- 2023 年度開催第 11 回国際鉄リサイクルフォーラムについて

- 開催形式、開催日時、開催場所
- プログラム、テーマ、ゲストの検討

- ◆2022年度第4回国際ネットワーク委員会(2023年2月21日)
2023年度開催第11回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
 - 開催形式、開催日時、開催場所
 - プログラム、テーマ、ゲストの検討

(10)自動車リサイクル法委員会

<委員会活動・事業>

- (1)自り法全般に関する運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。
特に、マテリアルリサイクル促進及びASR削減に向けた素材回収インセンティブ制度に関する関係省庁・関係機関との協議。
- (2)環境省主導の「自動車リサイクルのカーボンニュートラル及び3Rの推進・質の向上に向けた検討会」に出席し、破砕業としての意見を発信。
- (3)破砕業におけるGHG排出に関する環境省の調査への協力。
- (4)ASRの差配状況、再資源化施設の受入れ状況の調査及び実情把握。
- (5)エアバッグ作動事故防止及び廃発炎筒回収に関する会員への周知。

<委員会開催>(2回)

- ◆2022年度第1回自動車リサイクル法委員会(2022年7月7日)
 - (1)次世代モビリティのリサイクルシステムについて
 - (2)自動車資源循環情報プラットフォームについて
 - (3)資源回収インセンティブ制度について
- ◆2022年度第2回自動車リサイクル法委員会(2023年1月18日)
 - (1)使用済み自動車の不適正保管事案の解消について
 - (2)資源回収インセンティブ制度について
 - (3)環境省・MRAからのGHG排出関連調査依頼に関する協力依頼

(11)港湾委員会

<委員会活動・事業>

- (1)2021年3月に採択された石狩湾新港拡充プロジェクト(総事業費92億円、東地区12m岸壁等)は、2022年1月に現地着工。2025年度暫定供用開始を目指す。
- (2)リサイクルポート推進協議会内の国際資源循環部会は、2023年3月16日に部会を開催し、林誠一氏による「鉄スクラップ需給の現状と展望」に関する講演を行うとともに、今後のリサイクルポートのあり方について意見交換を実施。

<委員会開催>(1回)

- ◆2022年度第1回港湾委員会(2023年2月22日)

(商社流通委員会と合同開催)

(1)本部報告

- 2023年6月以降の活動
- 鉄スクラップの環境価値、PR

(2)2022年の国交省との輸出向け港湾整備に関する打ち合わせ

- 石狩湾新港視察報告

(3)今後の船積みに向けた課題

- 第二の港湾整備対象港の可能性含めて

(4)世界のグリーン製鉄・グリーン調達動向

Ⅲ 庶務事項

1. 会 員(2023年3月31日現在)

| | |
|----------|----------------------|
| 正会員 | 703社(専業687、商社15、海外1) |
| 正会員登録事業所 | 166事業所(専業130、商社36) |
| 賛助会員 | 63事業所 |

2. 役 員 等(2023年3月31日現在)

| | |
|-------------|--------------------|
| 会 長 | 1名 |
| 副 会 長 | 4名 |
| 専務理事 | 1名 |
| 理 事 | 3名(会長、副会長、専務理事を除く) |
| 監 事 | 2名 |
| 顧 問 | 2名 |
| 支 部 長 | 7名 |
| 委 員 長 | 9名 |
| 運営委員 | 19名(含む委員長、以下同様) |
| 財務委員 | 7名 |
| 商社流通委員 | 12名 |
| 業務対策委員 | 15名 |
| 環境委員 | 11名 |
| 国際ネットワーク委員 | 8名 |
| 広報委員 | 12名 |
| 自動車リサイクル法委員 | 9名 |
| 港湾委員 | 9名 |

3. 会 議

(1)第 33 回全国大会(東北支部主管)

第 33 回全国大会は、2022 年 6 月 18 日(土)にホテル青森にて新型コロナウイルスの感染症対策を講じた上で 2019 年の第 32 回全国大会(関西支部主管)開催以来 3 年ぶりに開催、全国から約 430 名の参加を得て開催した。

(2)2023 年新年賀詞交歓会

2023 年の新年賀詞交歓会(本部・関東支部共催)は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ開催を中止した。

なお、各支部の新年賀詞交歓会は、関西、中部を除き、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で開催した。

(3)鉄リサイクル業高齢者雇用推進委員会

<委員会活動・事業>

[事業の目的]

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構より 2021 年度～22 年度までの 2 年間の受託事業として実施。鉄リサイクル業界の「経営者・従業員の双方が、高齢者雇用によるメリットを感じることができるよう雇用管理面での仕組みづくり」や「高齢者を企業経営上の戦力として活用できるよう、高齢者本人の就業インセンティブを引き出す環境づくり」を目的として実施。

[事業内容]

- ・2021 年度は高齢者を有効活用する上での課題等を抽出し、2022 年度のガイドライン作成のための論点や方向性を検討。
- ・2022 年度は 21 年度に明らかになった論点や方向性をもとに高齢者雇用を推進するためのガイドラインを作成、配布。ガイドライン普及のための啓発セミナーを開催(2022 年 11 月 30 日)【Web 開催】。

<委員会開催> (4 回)

◆2022 年度第1回委員会(2022 年 5 月 24 日)【Web 開催】

- (1)高齢者雇用推進事業実施計画について
- (2)ガイドライン作成の方向性と昨年度第4回委員会での意見の確認
- (3)ガイドライン作成の基本方針について
- (4)今後のスケジュール確認と日程調整等について

◆2022 年度第 3 回委員会(2022 年 7 月 21 日)【Web 開催】

- (1)ガイドラインのパンフレットについて
- (2)ガイドラインの動画コンテンツについて
- (3)シナリオ

- (4)出演俳優の候補
- (5)パンフレット、動画コンテンツの制作スケジュールについて

◆2022年度第3回委員会(2022年10月20日)【Web開催】

- (1)ガイドラインのパンフレットの紹介
- (2)ガイドラインの動画コンテンツの紹介

◆2022年度第4回委員会(2023年1月11日)【Web開催】

- (1)普及啓発セミナー開催報告
- (2)報告書案の検討(審議・決定)

4. 関係機関への委員派遣

- (1)一般社団法人日本鉄源協会
 - ①副会長、理事、監事、需給流通委員会・運営委員会等委員派遣 (会長他)
- (2)経済産業省、環境省関係
 - ①経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (専務理事)
 - ②環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (専務理事)
- (3)「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (専務理事)
- (4)リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」部会長 (専務理事)
- (5)公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)
- (6)一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)
- (7)鉄リサイクル企業年金基金 理事 (専務理事)

5. 関連団体の活動

- (1)一般社団法人日本鉄源協会
 - 鉄スクラップ関連情報として、年1回「鉄源年報」、3ヵ月に1回「クォーターてつげん」、月1回「てつげん短信」をそれぞれ発行。
- (2)リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会(国交省主管)
 - 活動を通じて静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施(港湾委員会)。その結果、2021年3月には国交省より石狩湾新港・整備事業(総事業費92億円)の新規採択を受ける。
- (3)鉄リサイクル企業年金基金
 - 2023年3月末現在で実施事業所数196事業所、加入者数6,925名、受給者数3,306名、運用資産額(時価)約88.8億円となっており、関連諸事業を推進。

6. 2022 年度新入会員

● 専業会員

< 関東支部 >

| | | |
|----------|-------|------|
| 東北商事株式会社 | 代表取締役 | 脇田達志 |
|----------|-------|------|

< 中部支部 >

| | | |
|-------------|---------|------|
| 豊通リサイクル株式会社 | 代表取締役社長 | 山川 潔 |
| 株式会社ニッコー | 代表取締役 | 貞本尚洋 |

< 関西支部 >

| | | |
|-------------|-------|------|
| SJリサイクル株式会社 | 代表取締役 | 樋口真司 |
|-------------|-------|------|

< 九州支部 >

| | | |
|----------|-------|------|
| 大川金属株式会社 | 代表取締役 | 田村信華 |
|----------|-------|------|

● 賛助会員

| | | |
|----------------|-----------|------|
| ENECHANGE 株式会社 | 代表取締役 COO | 有田一平 |
| 株式会社 JEMS | 代表取締役 | 須永裕毅 |